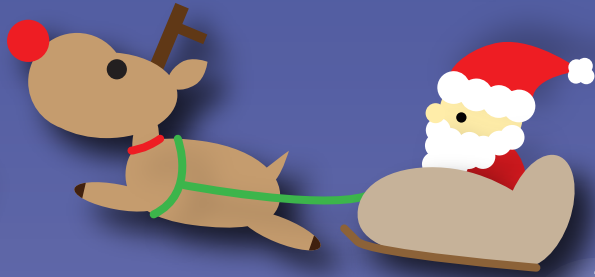


日の出組がお届けする理想の住まいと最新情報

ソレイユ

soleil

05
年末号



江戸時代から続く建物を
次世代にもつなげたい…

「伝統美を生かし、
居住性を高める。」

古民家再生事例・須磨の家

家庭のエネルギーをかしこく使う
HEMS(ヘムス)

「系統制御型蓄電池
システム制御用分電盤」

住宅最新設備

現場で働く機械

これなーんだ?



住み継ぎたい、価値ある住まい。

古民家再生 須磨の家

伝統美を生かし、居住性を高める。

江戸時代から
続く建物を
次世代にも
つなげたい！

明治の大屋根改修の時から数えて、100年。江戸時代からの建物とのことで、次の世代につなげていきたいとオーナー様は願っていらっしゃいました。そんなときに相談を受けたのが平井憲一建築事務所様。そして、平井憲一建築事務所様からの依頼で弊社が古民家再生の工事をする事になりました。基礎はすべて防湿コンクリートを打設して、湿気対策を施し、耐震性を向上する為に、柱、梁の仕口に*仕口ダンパーを取付けました。意匠的には、古い柱・梁の使える部分を残して、新しい柱、梁、丸太梁を新設。工事はすべて大工さんによる手刻み加工。非常に時間と手間のかかる作業でした。

大屋根も丸太の骨組みだけを残して、すべて取替し、むくりを付けた屋根も緩やかにカーブを描いて、日本建築の美しさを再認識しました。

室内はガス床暖房を完備。昔の趣を残して、現代風な要素を取り入れております。

オーナー様もご自分が存命のうち何とかこの家を再生したいとの強い思いがあり、今回のこの再生工事を終えられて、非常にほっとしたご様子でした。工事には1年かかりましたが、価値ある住まいとして、次世代へ住み継いでいただきたいと社員一同願っております。

*仕口ダンパーとは……？

高分子材料の粘弾性体を使用した耐震補強装置です。三角形の鋼板と鋼板の間に粘弾性体を挟み込み、柱・梁仕口部に取付け、粘弾性体をせん断変形させることにより、地震荷重や風荷重のエネルギーを吸収して木造建物の変形を抑制します。

カネソウ株式会社 <http://www.kaneso.co.jp/>



「須磨の家」データ

構造：木造 竣工年月日：平成24年2月9日
階数：2階 設計・監理：平井憲一建築事務所
建築面積：225㎡ 施工：株日の出組
延床面積：333.5㎡

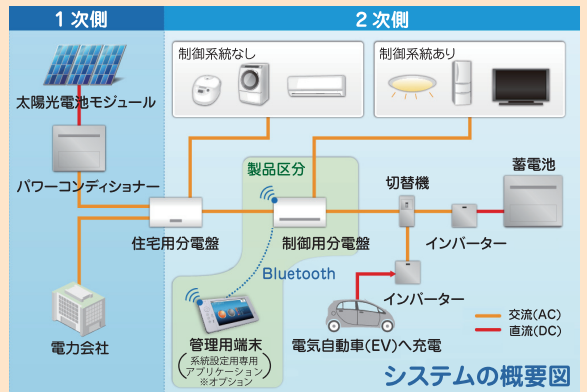
家庭のエネルギーを かしこく使う HEMS (ヘムス)



HEMS(ヘムス)とは、最近よく耳にする言葉で、ホーム・エネルギー・マネジメント・システムの略です。太陽光パネルや蓄電池、家電、電気自動車、給湯器などを無線でつなぎ、家庭内のエネルギーの使い方を管理して省エネルギーにつなげる仕組みです。

- 例① 太陽光パネルで発電して余った電力を自動的に蓄電池にためる。
- 例② 室温や明るさにあわせてエアコンや照明の設定を変える。
- 例③ 設定した電力量を超えそうな場合は指定した家電のスイッチを自動で切る。

上記のようなことができるなど、電力の使用状況を液晶モニターで見えるようにして、省エネ意識を高める工夫をする装置です。各大手電機メーカーがこの装置を販売しておりますが、他社との互換性の問題があります。弊社では今回は、トランスポート(株)の制御用分電盤をご紹介します。この装置のすごい所は、全てのメーカーの商品に対応している所です。あまりピンとこないかもしれませんが、太陽光発電・エネファーム・エコウィル等自家発電装置を設置した場合、余った電気は蓄電池に蓄え、さらに停電時には蓄電池に自動で切り替えてくれます。(切り替わり際パソコンの電源も落ちません)蓄電池?太陽光?と実際自分もまだまだと思っておりますが、現在のスマートフォンの普及を2年前は誰が予想できたでしょうか? 2年後標準装備になってるのではないのでしょうか? この装置を設置しておけば将来どんな設備になっても対応できますよ。



トランスポート(株) <http://www.tranceboot.com/>

これからは、
どの家庭でも
考えなければ...



おすすめ!

住宅用

全てのメーカーの製品に対応できるトランスポート社の

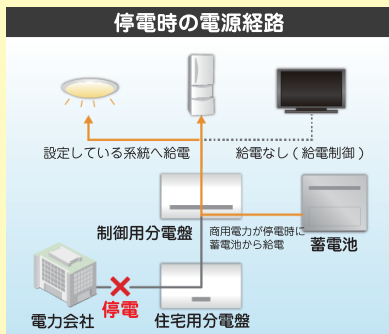
系統制御型 蓄電池システム 制御用分電盤



安定して
電気が使える
システムなんだね

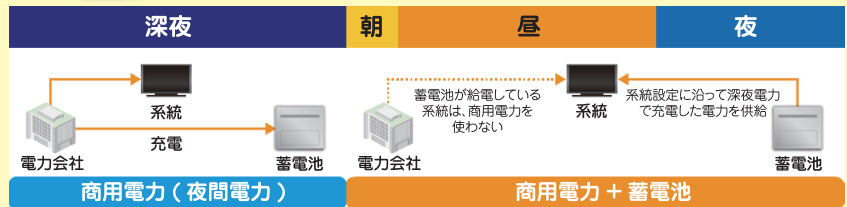
POINT01

停電時、あらかじめ設定した系統へ蓄電した電力を供給



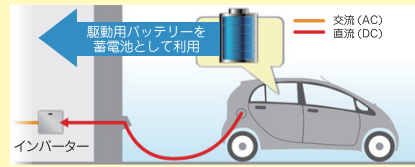
POINT02

夜間電力を蓄えて日中に利用。
夏冬の電力需要ピーク時でも安定して電力を使用可能



POINT03

さまざまな蓄電池に対応。
電気自動車の駆動用バッテリーを蓄電池として使用することも可能



電気自動車の駆動用バッテリーを使った給電イメージ



現場で働く機械 これなーんだ?

正解

地盤の強さ(支持力度の強さ)を調べる簡易調査方法に使用する機械です。調査方法の名前は、スウェーデン式サウンディング試験といいます。敷地の4隅と中央部の計5ヶ所に先端がスクリー状になった鉄の棒を差し、回転貫入させて地盤の強さを判定します。この調査方法を元に地盤を固めて建物が沈まないようにする工法を検討します。工事が始まる前、一番最初に現場で作業を行う工事です。



Event

恒例第3回夏の感謝祭

平成24年8月26日(日)



昨年に引き続き好評だった流しそうめんは今年もたくさんの方々に喜んで頂き、縁日や工作コーナーも大盛況のにぎわいでした。真夏の暑い中にもかかわらず、ご来場頂き本当にありがとうございました。皆様の笑顔を見ると、夜にカブトムシを捕りに行ったり、竹を探り流しそうめんの台を造ったりと、それまでの準備等の苦勞が報われ、無事に終えた事をととても喜んでます。また開催したいと思いますので、来年もどうぞよろしく願います。

Report

日の出会親睦旅行
今年は韓国へ

6月に日の出会親睦旅行に行ってきた。天気は良く、日本と変わらない気候で蒸し暑かった。見学(朝鮮王朝の王宮、大統領官邸等)と免税店でショッピング・夕食後の自由時間はカジノやソウル市内散策等みなさん満喫したようです。1泊2日の弾丸旅行でしたが、協力会社の皆さんとの親睦を深める事が出来たと思います。(しかし、韓国のバスは冷房が利かず暑い!!)



職人さん紹介 vol.3

西川工務店 岩崎直樹さん



今回、紹介します職人は、大工歴17年の西川工務店に所属する岩崎直樹大工です。新築・リフォームなんでもこいの大工さんです。休日は、趣味でもある読書と音楽鑑賞をして平日の疲れを癒されておられます。

モットーは「早く綺麗に納得がいく家づくりを行いお客様に喜んで頂く事です。親方の背中を見ながら日々切磋琢磨し技術向上の為に精進しています。」自分が納得いけない場合はとことん現場担当者と打合せを行なってより良い家づくりに励んでおります。現場に居る日数が一番多いのが大工業です。現場の雰囲気・安全を考えて、休憩中には他業者とのコミュニケーションを取るように積極的に話し掛けを行っています。これからも自分の納得が出来るよう現場担当者と打合せを行い、お客様が喜んで頂ける作品を造って行きたいと考えています。

編集
後記

皆様いつもお世話になります。今年も気が付けば年末の慌ただくなる季節がやって参りました。振り返ると今年も色々な出来事がありましたね。誌面にも掲載しておりますが、6月には日の出組建設協力で韓国に親睦研修旅行へ行き、異文化に触れ貴重な体験をして参りました。また、8月には恒例となりました夏の感謝祭も天候にも恵まれ、地域の皆様と交流を深める事が出来、大盛況の賑わいでした。2013年もヒノデスピリット真直ぐ家づくり宣言「真実。真剣。真心。真摯。真理。真価。素直。」をモットーに皆様へ思いをカタチ(家)にご提案させていただける存在でありたいと思います。今後とも宜しくお願い申し上げます。



編集長 東村 光博

Pure Dreams
HINODE
「夢」伝えて、豊かな未来。



一級建築士事務所

おかげ様で創業113年

総合建設業 / 株式会社 日の出組